

直売所「あんずの里」

あんずの里は、地元の果物と野菜、新鮮な魚、およびその他の製品（調味料・漬物・軽食・お弁当など）を販売する直売所です。福津の気候は温暖で、冬も霜が降りません。そのため、年中花と農作物を育てるのに理想的な場所になっています。あんずの里の商品は、地元の栽培者・製造者・漁師の写真やメッセージとともに陳列されています。

あんずの里では、地元の工芸品やお土産も販売されており、この地域の観光パンフレットも用意されています。あんずの里には、レストランと交流館が併設されています。コミュニティセンターでは、料理教室や工芸体験に参加することができます。

この施設の名前は、直売所の上の丘に広がるあんずの果樹園から来ています。駐車場から果樹園を抜けて歩いて行くと、丘の上にはあんずの里公園があります。この広い公園からは、玄界灘が望めます。果樹園には 2,500 本のあんずの木があります。春には、あんずの花と桜の花が楽しめます。夏には、新鮮なあんずとあんずジャムがこの直売所で販売されます。

この直売所は 1994 年に始まりました。農家の女性たちが、軽トラックの荷台に自分たちで作った農産物を積んで販売するために、道路脇に集まったところから始まったのです。2 年後に、それが地元の農作物と産品を販売する常設の直売所へと発展しました。